



令和7年度 稲生小学校の教育基本方針について

桜も若葉となり、春本番という気候になってまいりました。こどもたちは、新しいクラスや学年にも慣れ、元気に学習活動に励んでいます。いつも学校教育を温かくご支援くださり、誠にありがとうございます。

本年度、稲生小学校では以下の基本方針に基づき、教育活動をスタートいたしました。今後、学校運営協議会でもご意見をいただき、不断の改善を図っていきたいと考えております。ご理解・ご協力を宜しくお願いいたします。

1 学校教育目標

「人間性豊かで、たくましい実践力をもったこどもの育成」

2 めざす学校像

「あいさつが響き合い 学ぶ喜びと思いやりにあふれる学校」

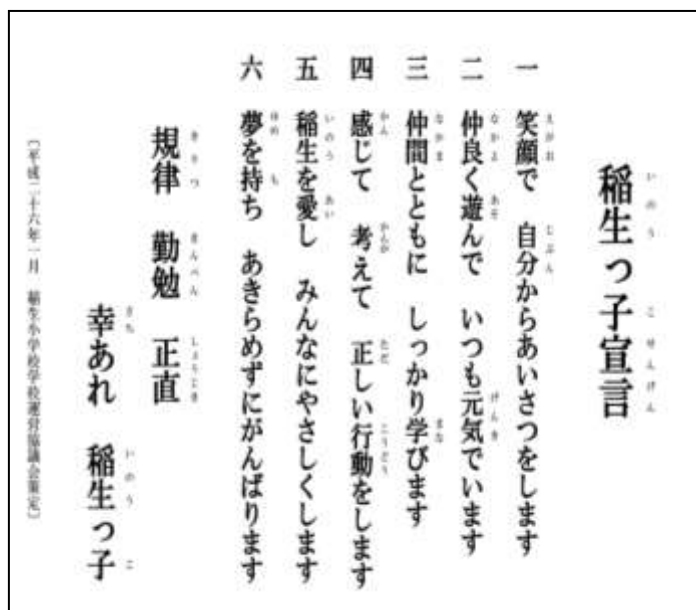
- ・地域や家庭とともにある学校づくり
- ・確かな学力・健やかな体を育む学校
- ・児童一人ひとりが大切にされる学校
- ・児童の成長を喜び、教職員自らも成長し続ける学校

3 めざすこども像

- ①規律を大切にし、正しい行動をする子（規律）
- ②学びを大切にし、仲間とともに高まろうとする子（勤勉）
- ③感動を大切にし、思いやりの心を素直に出せる子（正直）
- ④生命を大切にし、健康に生きる子（健康）
- ⑤夢や目標を持ち、あきらめずにがんばれる子

4 めざす教職員

- ・教育に対する使命感と誇りをもち、こどもたちとともに学び続ける教職員
- ・こども一人ひとりの思いに寄り添い、深い愛情を注ぎ続ける教職員
- ・「チーム稲生小」として、主体的・組織的に行動し、常に改善を試みる教職員
- ・コミュニティー・スクールの主体として、家庭・地域と一体となった教育活動を推進する教職員



5 経営方針及び達成方策

(1) 家庭や地域に信頼され、ともに創り上げる学校

- ・ 夢ある稲生まちづくり協議会、学校支援ボランティア等、地域との協働的な教育活動の推進
- ・ 地域の教育資源を活かした授業の創造
- ・ 家庭訪問等による学校・家庭間でのこどもの情報の迅速な共有。保護者との積極的な意見交換による信頼関係の構築、連携
- ・ メール配信等、ICT 機器を活用した学校情報の積極的発信

(2) 「次代を生きる力」を育む教育課程・授業の創造

- ・ 体験的・探究的な学習により学ぶ喜びを実感できる授業づくり
(児童が主体となった対話的な学習、複線型授業の実現、一人ひとりの個性が尊重され安心してありのままの自分が出せ非認知能力が育つ学級づくり、読解力・作文力の育成、ICT 機器の効果的な活用、読書活動の推進)
- ・ 系統的・横断的なカリキュラム・マネジメントの推進
- ・ 全国学力・学習状況調査、みえステディチェック、体力テストの結果分析による授業の改善

(3) こども一人ひとりが大切にされる人権教育、安全安心な学校教育の推進

- ・ 特別支援コーディネーターを核とした組織的な特別支援教育推進体制の充実
- ・ 一人ひとりの思いに気づき、受け止め、ともに考える仲間づくり
- ・ 不登校の未然防止、再登校につながるこども・保護者への支援の充実
- ・ 「いじめ防止基本方針」に沿ったいじめ防止対策の徹底
- ・ 防災・防犯・交通安全教育の推進と教職員・こどもの危機管理能力の向上

これらの実現は決して容易なことではありませんが、一歩ずつ前進していくために、まず私たち教職員が、こどもたち、保護者の皆様、地域の皆様とともにあり、学び、成長していきたいと考えております。そのために、職員一同、以下の事項を大切にしていきたいと思います。

- ・ 自分から積極的に挨拶をする。=多くの方とつながる第一歩
- ・ 瞳を見て、笑顔で「話す」「反応して聴く」=明るく前向きな関係づくり
- ・ 遠慮・躊躇なく「分からないことは聞く」「困ったときには相談する」「間違えた時には謝る」=風通しのよい関係づくり
- ・ 自らに期待されている役割や立場を自覚し、積極的失敗を恐れず、歓迎し、常に改善を試みる文化の醸成=「試す人になれ」
- ・ 総勤務時間の縮減に向け、取組や業務の精選・効率化、行事等の分散化による時間外労働の削減=こどもたちの前で、元気で明るくいられるように。

★お知らせ★

本年度は、学校や地域行事等の様子は、「学校ホームページ」内の「学校ニュース」にて発信をさせていただきます。 <https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/esinou/>

この「学校だより」では、主に本校教育の方針や考え、家庭教育についての記事等を発信してまいります。どうぞ宜しくお願いいたします。(校長)